

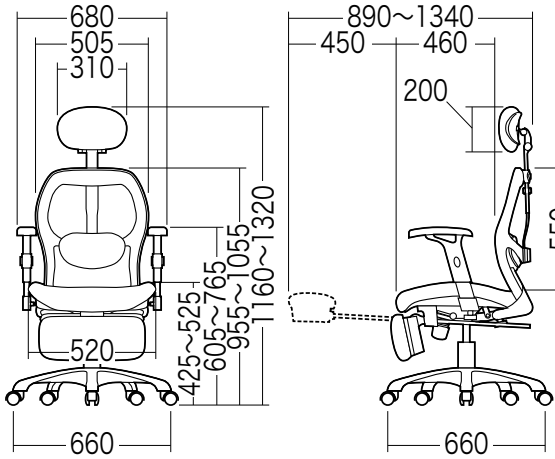
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立てください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

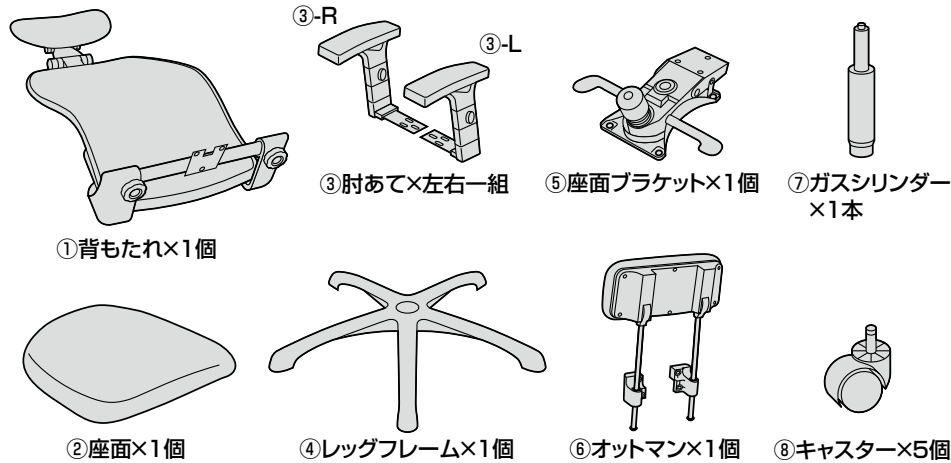
★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図

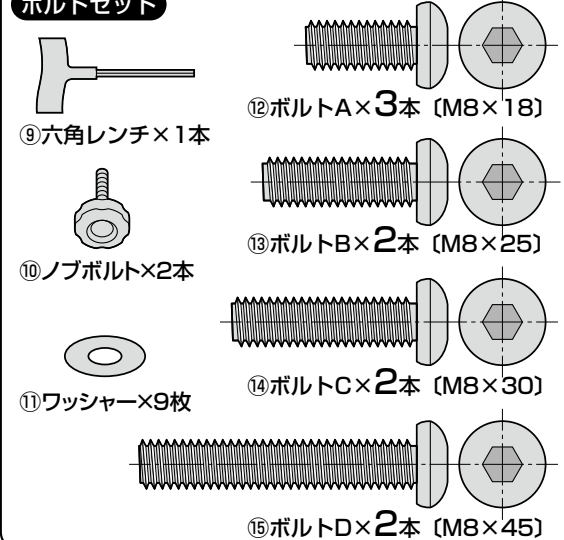


組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCM007など)と
下記の部品番号(①～⑮)と部品名(六角レンチなど)をお知らせください。



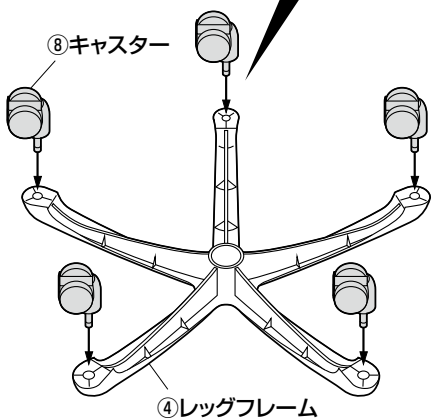
ボルトセット



1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。

▲注意▲

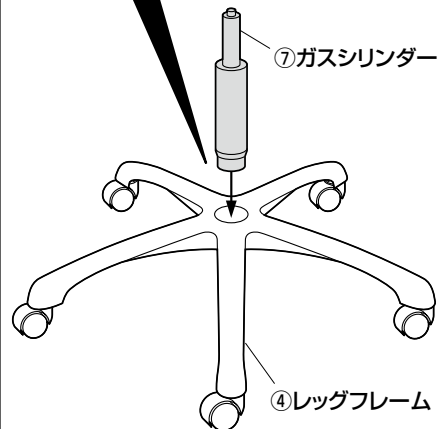
それぞれのキャスターは全て
圧入式です(手ではめこむ)。
奥まできちんと差し込んでください。



2 レッグフレームにガス
シリンダーを取付けます。

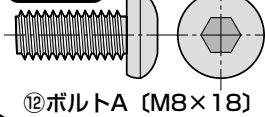
▲注意▲

ガスシリンダーが後で
抜けることのないよう
に、押し込みます。



3 背もたれに座面プレートを取付けます。

使用ボルト

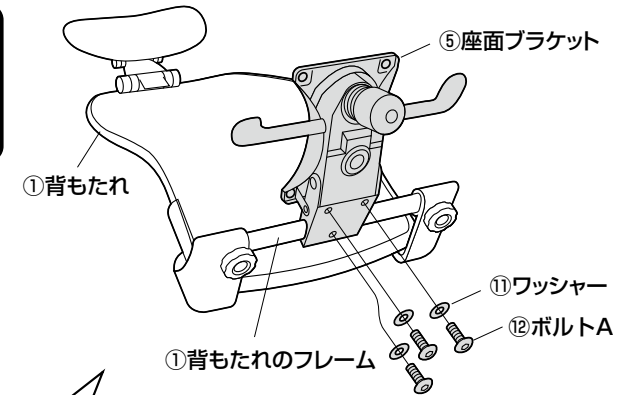
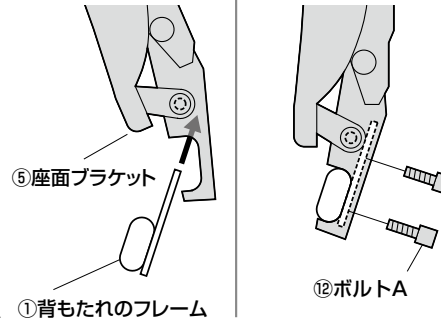


▲注意▲

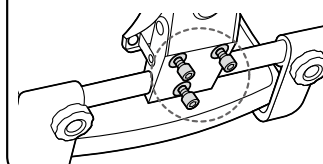
ボルトはしっかりと
最後まで締め込んで
ください。

横から見た図

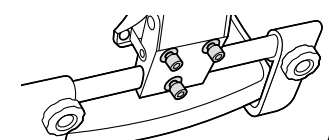
① 背もたれのフレームに
座面プレートを差し
込みます。 ② ボルトで固定します。



① 3本のボルトをゆるく付けます。



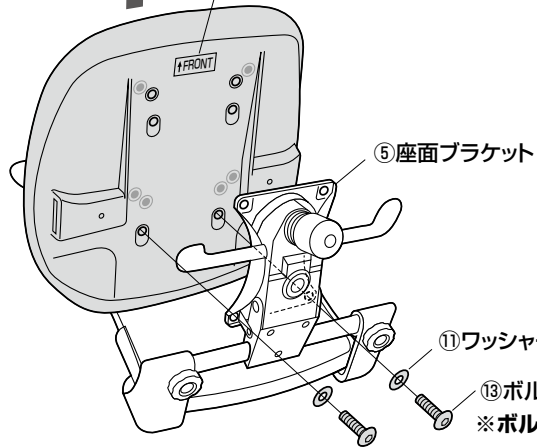
② すべてのボルトを均等に
少しずつ締め込んで固定します。



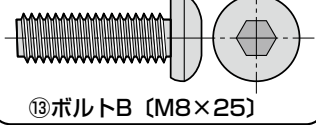
4 座面とオットマンを取付けます。

①座面ブラケットに座面を取付けます。

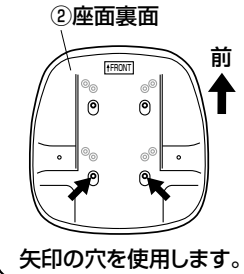
②座面裏面
※FRONTと書かれた方が前です。



使用ボルト

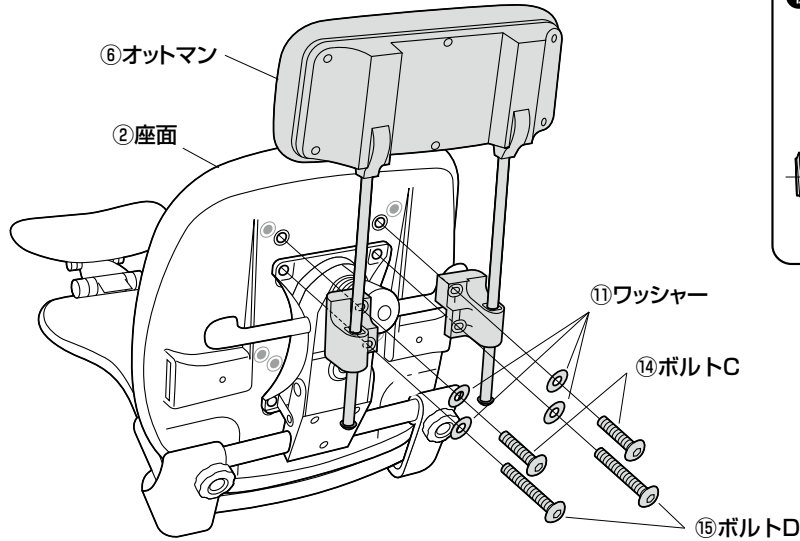


下から見た図

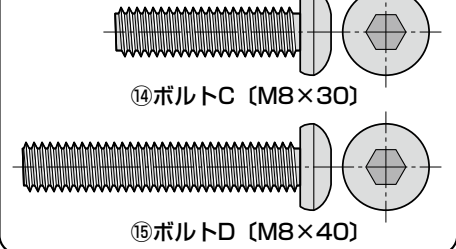


⑪ワッシャー
⑬ボルトB
※ボルトは緩めに付けておきます。

②オットマンを取付けます。



使用ボルト



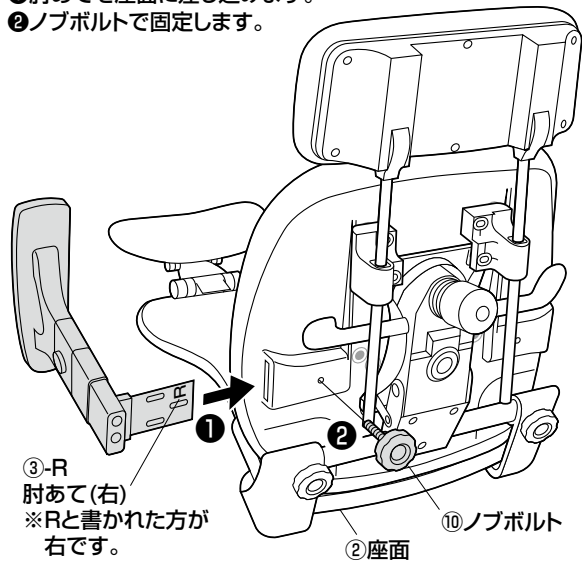
※ボルトは緩めに付けておきます。

▲注意▲

緩めに付けておいたボルトを締め付けます。ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。

5 肘あてを取付けます。

①肘あてを座面に差し込みます。
②ノブボルトで固定します。



※同様に肘あて(左)も取付けます。

6 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで完成です。

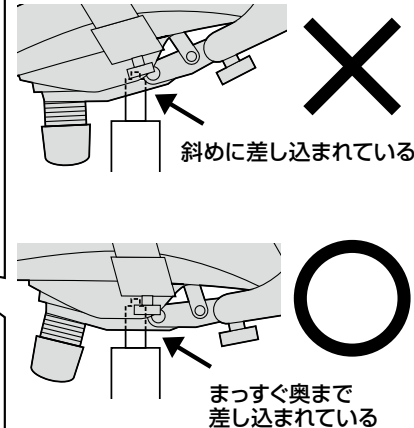
▲注意▲

可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。



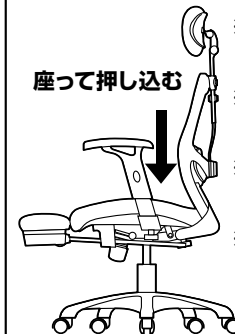
▲注意▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

オットマンの使用方法

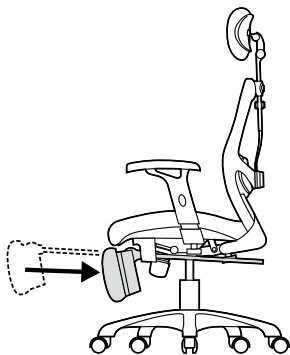
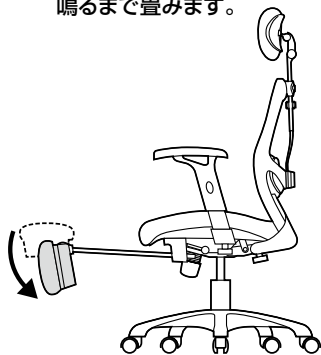
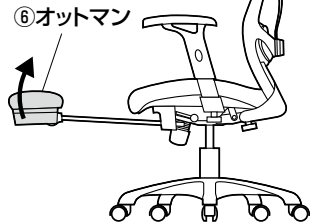
▲ 注意 ▲ 可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。

<収納方法>

①オットマンを矢印の方向に押し込みます。

②オットマンをカチッと音が鳴るまで置きます。

③オットマンを座面の下に収納します。

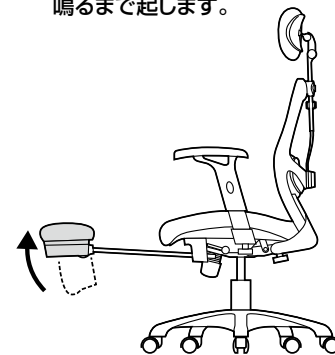
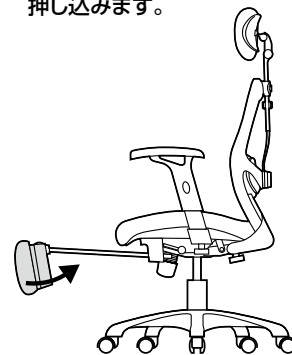
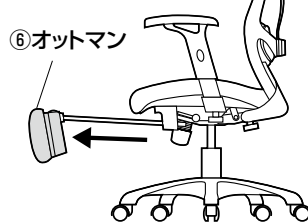


<開き方>

①座面の下からオットマンを引き出します。

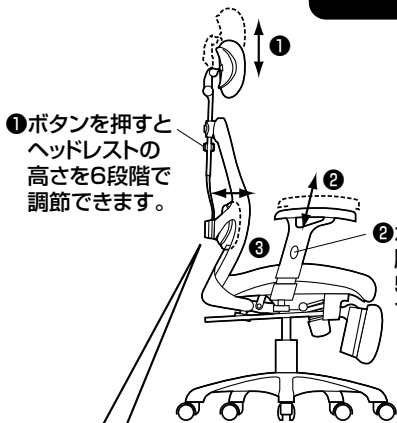
②オットマンを矢印の方向に押し込みます。

③オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。

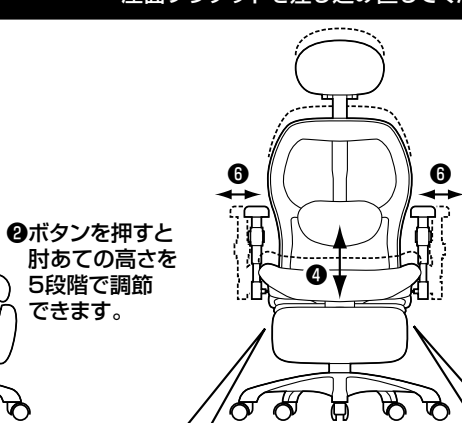


各部の調節方法

▲ 注意 ▲ レバーを回転させてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。



①ボタンを押すとヘッドレストの高さを6段階で調節できます。

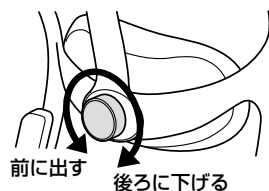


②ボタンを押すと肘あての高さを5段階で調節できます。

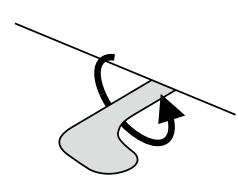
▲ 注意 ▲ 可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。



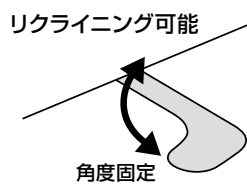
③ノブボルトを緩めると肘あての左右位置を調節できます。



④背もたれのツマミを回すとランバーサポートの前後位置を調節できます。



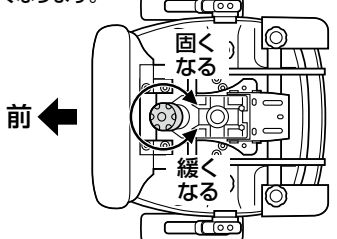
⑤レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。



⑥リクライニング中にレバーを下方向に回転させると背もたれの角度を4段階で固定することができます。
※リクライニングさせた背もたれを元に戻す時は、再度荷重をかけてください。

下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとリクライニングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

外形寸法：幅680×奥行890~1340×高さ1160~1320mm
(座面高さ425~525mm)
構造部材：座部・背もたれ部・オットマン部/スチール、ポリプロピレン
脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

製品に関するお問い合わせ
製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は右記までお気軽にご相談ください。
BI/AE/MFDa

サンワサプライ株式会社
サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381